

平成17年度第1回愛知県周産期医療協議会

議 事 要 約

日 時：平成17年6月3日（金） 午後3時から午後5時まで

場 所：名古屋第一赤十字病院 第6会議室

委員

出席者：浅井委員、安藤委員、石川委員、石田委員、一木委員、犬塚委員、岩田委員、岡田（純）委員、
岡田（節）委員、可世木委員、小山委員（代理）、榊原委員、柴田委員、鈴木（悟）委員、鈴木（千）委員、
成田委員、二村委員、松澤委員、森川委員、山崎委員

欠席者：高橋委員、寺澤委員

事務局

出席者：愛知県健康福祉部児童家庭課長、愛知県健康福祉部児童家庭課主幹（母子保健グループ）、
名古屋第一赤十字病院第二小児科副部長、名古屋第一赤十字病院第二産婦人科副部長

欠席者：名古屋市健康福祉局健康部主幹（医務指導）

司会者：名古屋第一赤十字病院第二小児科副部長

議 長：安藤会長

1 安藤会長あいさつ

2 議事

1 平成17年度愛知県周産期医療情報システムについて

- *大きなシステム変更はありません。
- *保健機関－医療機関の連絡票がホームページからダウンロードできるようになりました。
- *保健機関へホームページ登録願いの案内をいたしました。
- *協議会等の出欠席のレスポンスをホームページ上でお願いします。

2 平成17年度愛知県周産期医療専門相談事業の事業計画について

- *例年同様に各施設持ち回りで実施をお願いします。
- *予算は12万です。
- *日程・内容が決まりましたら事務局まで連絡をお願いします。

3 平成17年度愛知県周産期医療調査・研究事業の事業計画について

- *〈あいち小児保健医療総合センター 山崎嘉久〉
医療現場からの子育て支援の推進を目指した 医療スタッフ向け支援ツールの開発に関する研究
- *医療従事者が実務の中で子育て支援の視点を持ち、相談や連絡、家族への具体的支援ができるためには、具体的な形での支援ツールが必要とされている。
- *医療スタッフ間において、子育て支援に取り組むことへの共通理解の強化が求められる。

*今年度も2～3題を予定していますので、他にあれば提案をお願いします。

4 平成17年度愛知県周産期医療研修事業の事業計画について

*平成17年10月29日（土）栄ガスビルにて研修会と講演会を開催します。

*研修会

- *〈医療法人格医会 可世木病院院長 可世木成明〉
これからの産科医療～オープン・セミオープンシステム～についての調査研究
- *〈あいち小児保健医療総合センター 山崎嘉久〉
周産期医療施設・助産施設における子育て支援の取り組み
～特に助産師・看護師の役割～

* <名古屋大学医学部周産母子センター助教授 板倉敦夫>
周産期医療に及ぼす不妊治療の影響について
～愛知県における実態調査～

* 講演会

* <県西部医療センター産婦人科部長 前田眞>
産科オープンシステムについて

* 平成16年度の調査・研究事業に関連した内容の講演会を行います。

5 平成16年度愛知県周産期医療調査・研究事業の報告について

* <医療法人格医会 可世木病院院長 可世木成明>

これからの産科医療～オープン・セミオープンシステム～についての調査研究

* 愛知県は取り組みが遅れている。

* オープンシステムは産科医の献身的努力と犠牲的なもので成り立っている。

* 患者の意向にそったオープン・セミオープンシステムを作りあげなければならない。

* <あいち小児保健医療総合センター 山崎嘉久>

周産期医療施設・助産施設における子育て支援の取り組み

～特に助産師・看護師の役割～

* 詳細は資料No.2を参照してください。

6 報告事項

①名古屋第一赤十字病院 総合周産期母子医療センター 平成16年度総括について

* 資料No.3を参照してください。

②平成16年度特定不妊治療費助成事業集計結果について

* 平成16年7月より助成事業を開始し877件の申請がありました。(名古屋市と中核市除く)

* 一夫婦について2年度まで助成されるので今年度は増えると考えています。

* 助成制度は周知されていると判断しています。

③愛知県周産期医療協議会小委員会の報告について

* 城北病院のオープン化の方向性は理解でき、将来的に推進したいので協議会としても前向きに考えていきたい。

* オープン化を目指す姿勢は評価するが、地域医師会の理解や関係者の道徳形成不足の指摘と体制がオープン化に対応しきれていないという危惧がある。

* モデル事業後の県全体への展開について明確なビジョンが見出せない。

* 病院の将来計画にある平成22年度の新病院開設に向けて整備を行うことが重要である。

* 城北病院のオープン化については研究事業でオープン化について研究することは問題ないので、患者の考え等含めて取り上げてはどうか。

* 新病院開設時にオープン化を考えているので、可世木委員の調査・研究を引き継ぐ形で研究を行いたいと考えますが、ご賛同いただけますか。

* 県からこの結果について城北病院院長に報告に行きます。

7 その他

①周産期医療協議会委員の旅費領収印について

* 印鑑での受領でないと事務処理上不都合がありますので印鑑の持参をお願いします。

* 次回は平成17年11月4日(金)に第2回周産期医療協議会を開催します。